

広告

トーカイ&エムネットグループ

導入店レポート

プレイランドキャッスル小牧店

(950台)

MASHIRO グループ



株式会社 真城ホールディングス（以下：MASHIRO）は、愛知県内を中心『プレイランドキャッスル』など遊技場11店舗、温泉・飲食事業を展開している会社設立53年を迎える企業だ。どの店舗も異なる特色を持つていて、それが多くのファンの支持を集めている。

同社の理念は、『遊文化の創造』で、常に「夢」「ゆとり」「癒し」を地域社会に提供してきた。しかし、『プレイランドキャッスル小牧店』は、これまでの既存店とは異なり、MASHIROの今後の展開が試される次世代型の店舗として位置付けていたので、店舗づくりにも細心の注意が払われていた。

世間で騒がれている新型コロナウイルスや受動喫煙対策など、我々の暮らしに閉塞感が漂う中で『プレイランドキャッスル小牧店』のグランドオープンは、地域に明るいニュースを告げる意味では大きな意味を持つ。

※(1)汚れについて
ホールで最も多く見られる白っぽいホコリが、目立つにくくなる。逆に目立つのは、黒い糸くずなどだが、目につくので小間目に清掃ができ、樹脂の性質上ごみが滑り落ち、長時間清潔感を維持する。

新時代の風を呼び込む「白い椅子」

ホールにホワイトマジック

導入パーラーチェア／MD-2150(白フレーム)

プレイランドキャッスル小牧店（施設概要）

1983年にパチンコホール1号店として『プレイランドキャッスル上社店』をオープンし、現在、愛知県内に10店舗、岐阜県内に1店舗と、計11店舗を展開している。その記念すべき11号店が『プレイランドキャッスル小牧店』だ。地域との親和を第一に、質の高い接客・サービスなどで「独自性」「快適環境」にこだわった店舗づくりに力を注いでいる。

そんな中、トーカイ&エムネットグループの「白い樹脂フレームの椅子（パラーチェア MD-2150）」に白羽の矢が立ったのだ。フレッシュなホールづくりの支援をすることが目的でこの春、市場投入された今最も注目を集めているパラーチェアの一つで、MASHIROが描く次世代のイメージとぴたり重なったのである。

白色は、空間を広々と感じさせる効果と、衛生的な印象を与える効果が代表的だが、他にも光を柔らかく反射するので、照明効果で遊技機を新鮮に感じさせるなど様々な雰囲気づくりができる。白いシャツを着ると顔が明るく見えて、爽やかに感じられるおなじみの効果がそれだ。また、白は汚れやすい⁽¹⁾と誤解されがちだが、実際に白っぽいホコリなどが目立ちにくくなる。これは逆に長所とも言える。

つまり白を多く使ったホールでは、店内が明るく爽やかになり、年間を通じてお客様をフレッシュな気持ちにさせる効果が期待できる。

爽快な印象が、明るい未来につながると期待したい

MASHIROは、独自の発想とスケールで常に時代に先駆けた「遊び・癒し」を提供し続けてきた。

そして、企業ビジョンとして「誇り「遊び」を掲げ、スタッフ一人ひとりの意識を高め、100年企業に成長させていく。企業として、相手が感じるイメージはとても重要だ。今回導入した椅子を通じてだが「白いイメージ」は、パーラーが目指していく未来で、大切なキーワードになるのかもしれない。



開放的で清潔感のある店内